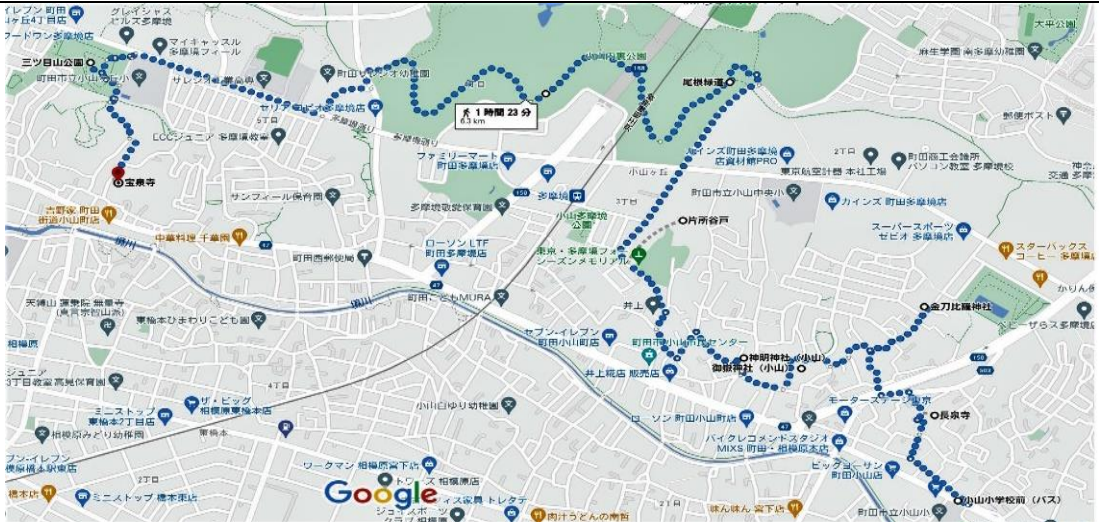


陽春の小山地区文化財検証調査探訪

実施日	2021 年 4 月 8 日(木)	快晴	参加者	10 名	文責	まちだ史考会文化財調査 G
概 要	テーマ：小山地区の文化財、史蹟、伝承と尾根緑道を訪ねる。 小山地区は、近くの田端環状遺跡で代表されるように縄文時代から開けた地域であった。江戸期においては当町田市側と境川対岸の相模原市小山地区に跨る地区が小山の地であった。背後に多摩丘陵を控え、境川流域に位置し恵まれた地形である。東西を現町田街道、南北に旧鎌倉道、大山道、浜街道が交差する地形でした。 ★コロナ禍を考慮してお寺さんとの懇談・内部拝観は中止。					
コース	町田バスセンター ～ 小山小学校バス停前から出発 					
見 所						
○蒼龍山長泉寺 宗派：曹洞宗 開山：照室景鏡 創建：天正(1573～91)年間。 寺領九石四斗の朱印、 本尊：釈迦木造坐像、長さ一尺余り。 本堂：木造瓦葺平屋、間口九間×奥行五間、唐破風向拝を有し、昭和三十五年に新築された。 庫裡：元農家を慶応三年(1867)移築したもので木造平屋。 地蔵堂・子育て地蔵： 慶安の舟形親子地蔵。堂前の一宇一石塔 七福神像： 内大黒天:文化十二亥十一月(1815)他 ○施弥山慈眼院福生寺 宗派：真言宗智山派 開山：玄亮法印 開基：天野孫兵衛清彦 寺領十二石二斗の御朱印を領す。 由緒：天福元年(1233)七月玄亮法印、鎌倉幕府に正観世音を祀ることを奏上し、翌文暦元年(1234)北条泰時より年号の一字を賜り福生寺と称す。慶安二年(1649)から村社札次神社、御嶽神社及び正観音の別当として寺領十二石二斗の御朱印を領する。 ★観音堂 本尊：観音菩薩立像 都指定有形文化財 ★観音堂石段登り口左側に「お茶坊様」(注)と呼ばれてきた無縫塔(卵型)が祠に祀られている。正面：入定沙門智海法師霊位 右側：安永己亥八年十二月二十三日 左側：荒ヶ谷戸観音寺住五十四歳 と刻されている。安永八年には小山から相原地方にかけて「はやり風邪」が流行して、村民は非常に難渋した。智海法師は自ら入定して救うために、墓を掘らせ自らは棺に入って鐘を叩きながら往生した。 ★集団赤痢罹災者供養塔(注) 明治三十年(1897)五月赤痢病が大発生し、96名が亡くなった。明治三十三年(1900)供養塔が火葬場に建立された。現在は福生寺墓地の一隅に遷座している－「片所谷戸入口」からほど近い左側。 注：「爽秋の小山探訪報告」(2020 年 10 月 27 日)添付 1、2 を参照。						



町田街道旧道の道祖神（長泉寺入口）



長泉寺の本堂と鐘楼



子育て地蔵（長泉寺）



神明神社



金刀比羅神社



御嶽神社



福生寺本堂



集団赤痢罹災者供養塔（福生寺の墓地脇）



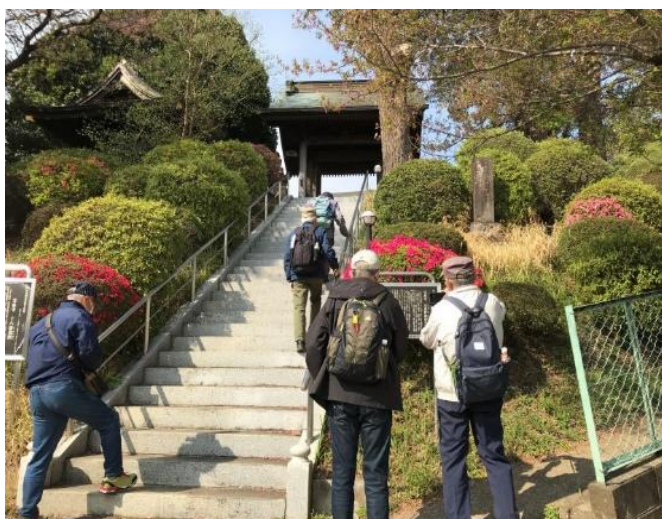
片所谷戸（かたそやと）



新緑の尾根道



満開のウワミズ桜（尾根道）



宝泉寺の山門



宝泉寺本堂